

カワラニンジン	<i>Artemisia carvifolia</i> Buch.-Ham.	情報不足
		キク科
選定理由	これまでに確認されている分布地が少ない。	写真(国立科学博物館) 標本 
形態の特徴	茎は高さ40-150cm。葉は2回羽状深裂する。頭花は茎や枝に総状につく。頭花は小さくて直径6mmほど、下向きに咲、黄緑色の筒状花からなる。	
生態的特徴	荒地や川岸などに生育する多年草。花期は8-9月。	
分布状況	朝鮮と中国に分布し、日本では北海道から九州に分布する。岐阜県では県南の南部に見られる。	
減少要因	不明。	
保全対策	生育地の保全。	
特記事項	中国から移入されたという見方がある。	
参考文献		

文責: 高橋弘